

議会だより



中土佐町

No.45

平成29年5月25日発行

第1回臨時会
3月定例会



■北海道幕別町・上士幌町で研修 2

■四万十源流の里が営業再開 4

■小学生が議会を見学 18

■議員出張懇談会始まる 19

学校にも慣れてきた久礼小学校1年1組の子どもたち (P20参照)

今回の主な内容

■北海道で研修	2
■第1回臨時会	4
■平成29年3月定例会	
議案審議	5
主な議案と議員の賛否	6
一般質問	7
委員会活動報告	14
行政報告	15
■議員の活動状況	16
■小学生が議会を見学	18
■議員出張懇談会を開催	19
■追跡	20

住民の声聴き 新庁舎

幕別町

4月12日から14日の3日間、本町と災害協定を結ぶ北海道幕別町と「ふるさと納税」で、寄付金額が北海道でナンバーワンの上士幌町を視察しました。幕別町は十勝平野の中にあり、パークゴルフ発祥の地として知られる町で、人口は約2万7千人です。住民の意見を聞きながら、新庁舎が建設されました。上士幌町は、十勝地方の北部にあり、人口約5千人。ふるさと納税の取り組みを通じて、産業振興、移住、子育て支援のまちづくりを進めています。



「議場」(上)と役場庁舎地下にある「免震装置」(右)を見学する議員



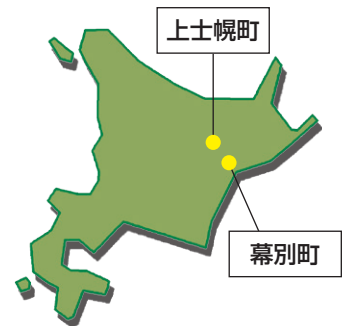
「庁舎建設」等の研修のため視察に訪れた幕別町役場の模型



幕別町で研修する議員と担当者



人口の約7割が集中する札内地区に約10億円で建設された支所機能も備えたコミュニティプラザ



幕別(まくべつ)町

庁舎建設で徹底して住民の声を聞く

幕別町では、平成28年4月、28億をかけた新庁舎が完成した。

高齢者、障害者をはじめ、全ての人が利用しやすい庁舎。防災・復興拠点としての庁舎となっている。また、省エネルギーに対応し、環境にやさしい施設になるよう、いたるところに工夫の跡が見られる庁舎であった。

立派な庁舎とともに、私たちは幕別町から、完成までの事業の進め方の教示を受けた。

平成23年7月「庁舎建設を検討する」という段階から、平成28年4月の完成までの4年9カ月の間に「地区別説明会」、広く意見を聞く「パブリックコメント」等を実施している。

事業の構想・計画・設計などの節目では、町の広報誌を通じ「住民の声」「役場の考え方」を、延べ19回にわたり丁寧に掲載している。

議会でも「庁舎建設特別委員会」を設置し、「議会報告会」等で住民の声の把握に努めている。

幕別町を視察し「住民と役場」「住民と議会」との関係の原点を見、大いに刺激を受けた。

災害協定を確認

平成25年11月、幕別町と結んだ災害時相互応援協定について意見交換を行った。

両町の災害時の連絡体制、救援物資、人員派遣等具体的課題を話し合い、今後さらに連携を深めることを確認した。



「ふるさと納税」などを研修した
上士幌町役場



魅力的な商品が掲載された上士幌町の
「平成28年度ふるさと納税感謝特典カタログ」



上士幌町の担当者から説明を受ける議員と担当者



「スクールバス購入」「認定保育園の保育料無料化」等の
寄付金の使い道やその効果など説明に使われた資料

上士幌（かみしほろ）町
ふるさと納税でまちづくり

上士幌町は、平成28年度は21億円（中士佐町23336万円）の寄付金額だ。

上士幌町では、平成20年、町が運営するプログラムを開発。21年、新商品開発事業を開始。22年には情報交流推進員として、地域おこし協力隊を採用している。そして、NPO法人を設立し、ここが移住・定住、新商品の開発、情報発信を行っている。合わせて、ネットショップもオープンさせた。このように、ふるさと納税好調の裏には、戦略的かつ地道な取り組みがあった。ふるさと納税が大きく伸びるのに伴い、返礼品生産の拡大が進んでいる。十勝ハープ牛を生産・加工する農場では200人を雇用している。ふるさと納税のお金を活用し、スクールバスの購入、認定保育園の保育料無料化、高校卒業までの医療費無料化、そして、住宅を新築する場合は、子ども一人あたり100万円を助成している。

まさに、ふるさと納税で町が活性化し、住んでみたいと思うまちづくりにつながる好循環が生まれている。

今回、二つの町を視察し、「住民目線、住民との共同作業を忘れないこと」「誰のためにどうするか」という目的意識をもって取り組むことの大切さ。そして、官民一体の戦略的な取り組みの大切さを強く感じ、北の大地を後にした。

中士佐町議会広報常任委員会

四万十源流の家 指定管理者にJPT



3月定例会で名称変更された四万十源流の里のバンガロー

JPT Tours Japan (株)

本社は東京都。オーストラリアの旅行会社 JPT Tours Group の関連会社。愛媛県久万高原町の「ふるさと旅行村」の指定管理者でもあり、外国人旅行者の誘致を始め、様々なアイデアを取り入れて運営している。

平成29年 中土佐町議会

第1回臨時会

議案
審議

平成29年第1回臨時会が2月8日に行われました。臨時会では、四万十源流の家の「指定管理者の指定」など3議案が提出されました。審議の結果、いずれも原案どおり可決（P6参照）されました。

指定管理者の指定 (四万十源流の家)

「指定管理者の指定について」は、四万十源流の家（現四万十源流の里）

の指定管理者をJPT Tours Japan 株式会社とするものだ。

町長からの提案理由説明の後、議案の審議が行われ、戸田晴喜議員、佐竹敏彦議員が賛成討論を行った。

採決の結果、賛成9、反対1で可決された。

開業が保証されるなら

戸田晴喜議員

賛成
討論

「源流の家」がある地区の住民の心配は、安定した営業と事業の継続だ。前回の経営者の下では安定した経営が行われなかったことが失望となった。修繕等に大きな金額を使ったこと。またもな営業をしなかったこと等に対する疑問の声を現地で聞いた。

この疑問に対し、事業計画の中で営業時間を表示し厳守すること。飲食店の管理運営が記されている。また短期撤退がないこと。冬季の経営の困難さも考慮されていること。効果的運営も考えている等の説明も全員協議会であった。

住民への説明でも、住民との交流・雇用・食事部門の強化等、積極的に取り組むと語られたと聞いた。

担当部署の農林課からも、地元、事業者との三者の連絡を密にすると説明があった。

地元とのコラボも希望されているということだ。地元では集落活動の取り組みが計画されており、業者とのコラボも考えられる。経営の安定、開業されることが保証されるのであれば発展性がある。賛成する。

大野見の将来に希望

佐竹敏彦議員

大野見地区を回り、当該地域等の意見を伺った。お客さんの接待場所として、食べさせる場所がないので、ぜひ開業して欲しいとの意見を伺った。

だが、前回の事例として危惧される点が多々ある。住民の皆さんから指摘もいただいた。

そうした中、インバウンド、サイクリストの拠点、ワーキングホリデーなど新たな提案もいただいた。わくわくとした何か前向きな点が見られ、大野見の将来に希望が持てるんじゃないかという気がする。

役場としても積極的に関わり、地元の意向を尊重した運営体制をつくっていただきたい。苦言を呈し賛成する。

インバウンド

ワーキングホリデー

外国人旅行者を自国へ誘致すること。各々の国、地域が相手国・地域の青少年に対して、自国・地域で一定期間休暇を過ごし、その間の滞在費を補うために就労することを相互に認める制度。

庁舎等移転用地造成 8億1604万円で契約

平成29年 中土佐町議会

3月定例会

平成29年3月定例会は3月7日に開会し、町長の行政報告、議案の提案理由説明、委員会の活動報告などが行われました。14日・15日には一般質問（P7から関連記事）が行われ、6人の議員が、町の課題について執行部の考えをたしました。17日には議案の審議が行われ、「平成29年度予算」など町長提出の26議案を可決し、閉会しました。

公共施設移転等 用地造成契約

「中土佐町公共施設移転等事業 移転用地整備請負契約の締結について」は、議決が必要となる5千万円以上の請負契約のため、地方自治法の規定により提出された。

内容は「ミタニ・谷脇組特定建設工事共同企業体」と8億1604万円で契約するものだ。質疑、討論はなく採決が行われ、全会一致で可決された。しかし、労務単価の上昇や追加工事の発生などにより、更なる負担増も予想されている。

特定建設工事共同企業体
特定JV。大規模かつ技術難度の高い工事の施工に際し、技術力を結集することにより工事の安定的施工を確保する場合等に、工事ごとに結成する共同企業体。

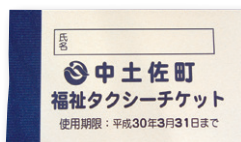


用地造成工事の残土の運搬にも利用される国道をまたぐ橋梁の下部工事

29年度は、こんな事業も



建て替えのための設計委託料が計上された上ノ加江公民館



今年度も引き続き、80歳以上に配布される外出支援のタクシーチケット



舗装工事が行われる町道押谷線（大野見萩中）



上ノ加江小学校へ整備される災害用資機材倉庫のイメージ

平成29年度 一般会計予算

「平成29年度一般会計予算」は、公共施設移転

等事業等の増額等のため、昨年度の当初予算を4億2517万円で上回る、69億5674万円の大型予算となった。

私は、賛成・反対 しました。

○・賛成 ●・反対 /・議長

《第1回臨時会の主な議案と議員の賛否》

審議した議案等	岡伊三男	戸田晴喜	山中英男	山下世仁子	黒原昭一	中城重則	下元道夫	佐竹敏彦	福永守恭	松下裕之	本井康介	可否
指定管理者の指定（四万十源流の家） ※「JPT Tours Japan（株）」を指定管理者とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	／	可決
公共施設移転等事業 町道不動越4号線橋梁下部工（A2橋台）整備工事請負契約 ※「（有）有澤建設工業」と5680万円で契約するもの	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
町職員の勤務時間・休暇等条例の一部改正 ※上位法令の改正に対応するためのもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決

《3月定例会の主な議案と議員の賛否》

指定管理者の指定（ライダーズイン中土佐） ※「HIROクラブ」を指定管理者とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
町税条例等の一部改正 ※上位法令の改正に対応するためのもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
集会施設設置管理条例の一部改正 ※「大野見南地区老人憩いの家」から「大野見集落活動センターみなみ」への名称変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
簡易宿泊施設設置管理条例の一部改正 ※「四万十源流の家」から「四万十源流の里」への名称変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
町営住宅設置管理条例の一部改正 ※不要物の処分、督促手数料等を定めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
嘱託職員の任用・勤務条件等条例の一部改正 ※子ども家庭支援員を任用するなど	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
非常勤特別職の職員の報酬・費用弁償条例の一部改正 ※鳥獣被害対策実施隊員の職を設けるなど	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
一般職職員給与条例の一部改正 ※国準拠の給料表に切り替えるなど	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
減債基金条例の一部改正 ※決算剰余金で積み立て可能とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
財政調整基金条例の一部改正 ※決算剰余金で積み立て可能とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
障害者地域自立支援協議会設置条例 ※組織の位置づけを明確にし、事業の推進を図るもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
地域密着型サービス運営委員会設置条例 ※組織の位置づけを明確にし、事業の推進を図るもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
地域包括支援センター運営協議会設置条例 ※組織の位置づけを明確にし、事業の推進を図るもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成28年度一般会計補正予算（第5号） ※公共施設移転等事業費の一部などを29年度に組み替えたことなどによる減額補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成28年度国保特別会計補正予算（第3号） ※共同事業拠出金の減額などによるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成28年度簡易水道特別会計補正予算（第3号） ※決算を見込んでの減額補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成28年度介護保険特別会計補正予算（第4号） ※地域支援事業費の増額によるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成29年度一般会計予算 ※歳入歳出それぞれ69億5674万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成29年度国保特別会計予算 ※歳入歳出それぞれ12億9821万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成29年度簡易水道事業特別会計予算 ※資本的収支は収益、費用をそれぞれ1億4862万円。資本的収支は収入580万円、支出5685万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成29年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算 ※歳入歳出それぞれ226万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成29年度農業集落排水事業特別会計予算 ※歳入歳出それぞれ4246万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成29年度介護保険特別会計予算 ※歳入歳出それぞれ12億9277万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成29年度後期高齢者医療特別会計予算 ※歳入歳出それぞれ1億1877万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
公共施設移転等事業 移転用地整備工事請負契約 ※「ミタニ・谷脇組特定建設共同事業体」と8億1604万円で契約するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
指定管理者の指定（大野見集落活動センターみなみ） ※「みなみの明日を考える会」を指定管理者とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決

一般質問

～所信を問う～



戸田 晴喜 ……P8

- 健康福祉課の課題は
- 町内の孤独死の状況は



佐竹 敏彦 ……P9

- 自衛隊と合同訓練を
- 議員削減メリットは



下元 道夫 ……P10

- 地域おこし協力隊は
- ブランド化と地産外商を



中城 重則 ……P11

- 任期1年、その後は
- 町外居住職員、緊急時は



山中 英男 ……P12

- 国保の都道府県移行は
- 給付型奨学金制度を



黒原 昭一 ……P13

- 監査指摘事項の改善は
- みなとオアシス登録メリットは

3月14日・15日の2日間、一般質問が行われました。
一般質問では、6人の議員が、防災対策や福祉、町外居住職員問題など町の重要課題について、執行部の考えをいただきました。



戸田晴喜

まち・ひと・しごと創生総合戦略 健康福祉課の課題は

独居高齢者世帯の増加

健康福祉課が、総合戦略の中で、将来像をどのように考え、町民に答えようとしているのか。その中で、重点的に捉え、問題があり、解決しなければと考えているのはどこか。



大野見保健福祉センター内の「ほのぼの大野見」で談笑する地域の皆さん
(写真：あったかふれあいセンター「ほのぼの大野見」提供)

今健康福祉課長 独居高齢者世帯や高齢者のみ世帯の増加、中心部から離れた地域の衰退への危機感、人口減少による地域力の衰退への意識がある。制度に当てはまらない狭間の課題に、行き届かない現状を認識している。

地域福祉の土壌づくりのため、あったかふれあいセンターの設置や地域福祉計画を実行してきた。地域の力を高め、高齢者を含めた地域の暮らしを守る方向で取り組んでいる。

町内の孤独死の状況は

平成27年に1例

問 町の孤独死の現状は。また、関連するセルフネグレクトに対する取り組みは。

今健康福祉課長 (孤独死は) 平成27年に1事例があった。

セルフネグレクトは、平成26年から28年までで、2件認定している。



セルフネグレクト状態が心配される対象者の早期発見にもつなげる小地域ケア会議

対象者の方への支援方法として、本人の支援ニーズのアクセスメントによる見立て、状況改善の意思確認をする。

意思のある場合は環境改善、福祉サービスの確保、金銭管理支援等の具体的な支援の提供を行う。本人の協力のもと生活の改善を図っていく。

意思のない場合、拒否のある場合は、支援の関係性の構築を行う。そして、本人の意識の改善を図っていくアプローチを行っている。

セルフネグレクトは、孤独死に至る一番大きなリスクだ。未然に状態を見つけ、支援につなげる取り組みを進めていく。

セルフネグレクト

成人が通常の生活を維持するために必要な行為を行う意欲・能力を喪失し、自己の安全や健康が脅かされる状態となること。

自衛隊と合同訓練を

連隊長の意見を検討中

【問】2月12日に防災講演会が開催された。陸上自衛隊第50普通科石田連隊長から「南海トラフ巨大地震の際の救助体制の課題、問題点を浮き彫りにしたい」。そのために「町や自主防災会と連携して、共同訓練をしたい」と提案された。早期に対応すべきでは。

【平田総務課長】連隊長の貴重な意見を検討中だ。関係機関との調整もあり、今のところ明確に答えられない。



佐竹敏彦



2月12日の防災講演会で講演する石田連隊長



自衛隊も参加して行われた救出訓練
(写真：高幡消防組合提供)

【シビリアンコントロール】
本来は、国防に関して、職業軍人でない文民が、最高の指揮権を持つ制度。軍部の政治介入を防ぐための原則。

議員削減メリットは 報酬分を他の事業に

【問】議員の報酬や定数は、削減圧力が強いと感じる。代議員制民主主義をとる我が国では、それらの削減は、それぞれ問題を抱え疑義を感じる。議員が少なくなれば、最終的に公務員による官僚政治になる。いわゆるシビリアンコントロールが効かない状態になる可能性がある。これは戦後、いけないうとマスコミも含めて指摘するところだ。
二元代表制は、削減であれば、改めて制度改革、

統治機能の抜本的改革が必要だ。最終的には地方自治法の改正、憲法改正になる。

今の議員報酬は、若者が選挙に出られない額だ。議員報酬・定数の削減で減税となるのか。歳出における議員予算減額のメリット・デメリット、影響は。

（注）地方自治法及び憲法には、直接、地方議員の議員報酬・定数を規定したものはありません。

【平田総務課長】議員の削減で全体的に減税とはならない。

議員報酬に係る財源は、すべて町の一般財源だ。議員数の削減や報酬の減額が行われた場合、それまで議員報酬に使っていた一般財源が、他の事業に使うことができるようになる。このため、財政的な視点から見ればメリットだ。

地方交付税等の算定には、議員定数などを基礎とする部分はなく、収入に影響はない。



存在価値が問われる11人（欠員1人）の議員。任期は来年2月4日まで（写真は合成です）



下元道夫

地域おこし協力隊は

地域に溶け込み戦力に

問 平成29年度の着任予定と業務内容は。

多田水産商工課長 中心商店街・漁業集落活性化・水産物販売促進の支援業務を行う隊員を募集している。しかし、着任までには至っていない。

問 地域おこし協力隊の現状と今後の取り組みについて聞く。

多田水産商工課長 現在着任している協力隊員は、観光情報の発信、町の案内業務に取り組んでいる。

下元企画課長 矢賀地区振興のため、昨年11月に協力隊員が着任した。現在、「猫のおやつ」作りに取り組んでいる。4月末からのテスト販売に向けて調整中である。

また、大野見北地区の振興のため、3月1日協力隊員が着任した。今後集落活動センターの設立運営に向けた支援活動を行う。



矢賀地区で地元の方々と取り組む「猫のおやつ」の試作品づくり



昨年11月に着任した「地域おこし協力隊」北野 愛さん

榎本農林課長 七面鳥の販売促進支援業務の協力隊員が、4月3日着任予定である。

問 地域おこし協力隊と地域の活性化について町長の考えを聞く。

池田町長 矢賀地区は、北野隊員を中心に輪が広がっていくと思う。

(情報発信に関わる) 増本隊員は、町内の方との情報交換、交流を深めている。永住して、業務に携わっていきたいと聞いている。

また、3月1日に着任した隊員は大野見出身だ。経験を生かし、飲食の起業をしたいと聞いている。3名とも地域に溶け込んでおり、これから大戦力になると思っている。

ブランド化と地産外商を ブランド化し、町を売る

問 水産物、農林畜産物のブランド化と地産外商、また、町の情報発信について聞く。

多田水産商工課長 水産物では、スラリーアイスを活用した高鮮度のカツオ、メジカをブランド化した。また、地産外商にも取り組んでいる。

地産外商マネージャーは

問 地産外商マネージャーがどう取り組んできたか。昨年、議会とマネージャーとの話し合いの中、「中土佐町の中で磨けば光るものは何だと思うか」という質問に対し

榎本農林課長 「大野見米」「四万十ヒノキ」「四万十ターキー」のブランド化を進めている。



大野見地区で飼育されている七面鳥



ブランド化を目指す四万十川流域のヒノキ



カツオをスラリーアイス漬けにし、高鮮度で発送する商品「びんぴカツオ」



県内では知名度も上昇中の「四万十の清粒 大野見米」

「ありません。あれば私たちがもう売っています」と答えた。町長の考えについて聞く。

池田町長 外商マネージャーは、これまでいろいろな批判もいただいている。高橋マネージャーは道の駅の駅長に就任する。それだけに終始するわけではなく、町全体を売っていくための活躍してもらえ



中城重則

任期1年、その後は

許されるなら引き続き

問（町長は）町政を担当され3期目の最終年度となる。最重要課題として取り組む施策は。そして、任期が後1年となる。今後行政を担当する率直な思いを聞くと。



3月定例会で行政報告をする池田町長

池田町長 最重要課題は、役場庁舎・消防庁舎・久礼保育所の高台移転事業だ。平成32年度末の合併特例債の期限までに完成をしなければならぬ事業に取り組んでいく。

この事業を遅滞なく完成さすべく、次も意を決し取り組む必要があると考えている。町民の皆様の判断により、もし許されるならば、引き続き行政を運営してまいりたい。

町外居住職員、緊急時は

指定した要員が集合

問 近年、南海地震対策はもとより、異常気象による豪雨等への対応が求められる。いつ発生するかもしれない自然災害は、勤務日とは限らない。日曜祭日、夜間かもしれない。

行政の迅速な対応が求められるが、職員に町外からの採用者が多い。また町外からの通勤者も多い中、緊急時の職員参集体制への取り組みは。

平田総務課長 参集方法は、災害対策本部の自動設置基準や災害時緊急連絡網などを活用し、事前に指定している配備要員が集合することになっている。

町外居住職員は町内イベントへ

問（町外居住）職員の地域活動について、一部（の職員）は町内各地区の地名や場所等を把握しているか案じられる。緊急時に活動する上においての基本である。

各地区の行事等に参加することにより、地名や地理、そして住民とのつながりもできる。緊急時に役立ち、そしてまた住民が来やすい役場にもつながると思うが考えは。

池田町長 地域のイベント等に地域外の職員も参画するように要請もしている。しかし、再度、職員には地域へも出向くようにということも申ししていきたい。

行政全体として、地域と連携し、さまざまな行政運営ができるようにしている。

笹場小学校は

問 笹場小学校が休校して3年がたった。行政として、同校に対する基本的な考えと今後の取り組みを聞く。

中城教育長 休校後の学校施設のあり方を検討する時期になっていると考えている。

教育委員会の基本的な考え方は、地域住民が活用できる施設、その他公共の福祉に寄与する施設としての活用などが適切ではないかと考えている。地域との話し合いに向け、早急に対応していきたい。



休校して3年が経過し、公共の福祉に寄与する施設等としての活用が検討されている笹場小学校



山中英男

国保の都道府県移行は 県・市町村で協議会設置

問 国保の都道府県移行の協議は進んでいるのか。標準保険料率の設定は、高い保険料にならないよう主張していただきたい。保険制度は収支均衡が原則。国が減額すれば、国民が負担すること

になる。給付は公平でなければならぬ。保険料を払っている人の権利だ。この辺りを踏まえて協議に臨んでいただきたい。

山本町民環境課長 国保は平成30年以降、都道府県が財政運営責任の主体となる。財政運営や効率的

な事業の確保等のため、県と市町村で運営協議会を随時開催している。標準保険料率・納付金額等は協議の中に入っている。県と市町村の説明会も随時開催されており、そういう場を利用して意見を述べていきたい。



国保事業を担当する町民環境課

給付型奨学金制度を

ニーズに合った政策を

問 大学に合格し、進学が決まったものの、学費の工面に悩む受験生や家庭

は多い。頼みの綱は奨学金だと思う。報道のとおり、奨学金地獄と言われ

るほど、卒業後に多額の返済に追われる若者は多い。家庭の事情で奨学金を借り、将来の結婚や子育てはもちろん、高齢化社会を支えることもできない。個人を超えた社会問題だ。教育のための奨学金制度がこんな姿であっていいはずはない。給付型奨学金の大幅な拡充を求める。

竹邑教育次長 町で拡充を考えている奨学金制度は、平成29年当初予算の中に、積立金5200万円を計上した。これは坂本育英基金と町の奨学金を合体したものだ。貸付人数の増加に耐え得る仕組みを目指すものだ。

教育委員会としては、学生や保護者ニーズに合った政策を検討していくため、保護者にアンケートも行う。積立金は、平成30年度から（貸し付けを）考えている。



高知市内の高校の始業時間に間に合う唯一の土佐久礼駅6時10分発の普通列車とこれから大学受験を目指す方もいる高校生
※特急は7時4分発（高知駅まで片道運賃1090円、特急料金1180円）があります。

監査指摘事項の改善は

勉強会等で注意喚起

問 監査委員は、議会の同意を得て町長が任命したものだ。その指摘は適正な行政執行をする上で重要だ。

平成28年度定期監査報告書で、住宅新築資金等貸付金、園芸ハウス等の収入未済金、督促手数料の整合性等、5項目の指摘がされている。

平田総務課長 滞納関係は、法的措置を行う場合の課題の分析検討を進めている。

督促手数料の徴収については弁護士と相談した。（納期限内に支払っても（納期限内に支払っても）必要なら）必要な事務作業に対する手数料であり、徴収を妨げないと考えている。しかし、現在の法解釈に沿い、条例の一部改正を行いたい。その他についても、庁議や勉強会を通じて注意喚起していく。

問 みなとオアシスの登録でメリットはあるのか。運営主体・責任者は誰か。どのような事業が行われるのか。

みなとオアシス登録メリットは

国土交通省が各種支援

下元企画課長 道の駅建設に合わせ進めている。シンボルマークの使用、国土交通省地方整備局がホームページでの広報、道路地図への掲載や道路標識の設置支援、その他港の振興に関する各種支援をしてくれるメリットがある。

設置者は中土佐町で、運営は㈱SEAプロジェクトになる。事業は毎年、各地で「みなとオアシスSea級グルメ全国大会」を開催している。

「道の駅」オープンは

問 SEAプロジェクト施設の建設も進み開業まであと4カ月になった。夏休みに合わせたオープンになる。多くのお客様に来ていただくためにはマスコミの報道が欠かせない。オープン時にできるだけ多くのマスコミ取材していただく必要がある。オープニングセレモニーの戦略や集客計画は、どこまで進んでいるのか。

池田町長 スタートが非常に肝心だ。オープニングイベント全般は、今年末までの間、「ユーエスケー」という会社にイベント関連の業務を委託している。その中でテレビでのCM・雑誌・ラジオにも何回も広告を打っていきけるようになっていく。道の駅というネームバリューを最大限に活用していきたい。

下元企画課長 7月6日に落成式典及びセレモニー、7月15日にランドオープンの予定だ。現在進めている業務委託したプロモーション活動と合わせ、充実したオープニングイベントにしていきたい。新聞やテレビスポット、CMにおける落成広告といった部分を、現在、検討しているところだ。



岡村香奈会計課長から出納状況の説明を受ける小林正章監査委員(右)と佐竹敏彦監査委員(左)



建設が進む「みなとオアシス」としても登録される「道の駅なかとさ」

黒原昭一

委員会活動報告

3月定例会の初日（3月7日）、総務・産業建設・教育民生の各常任委員長から議会閉会中の委員会の活動報告がありました。

将来も財政の健全運営を

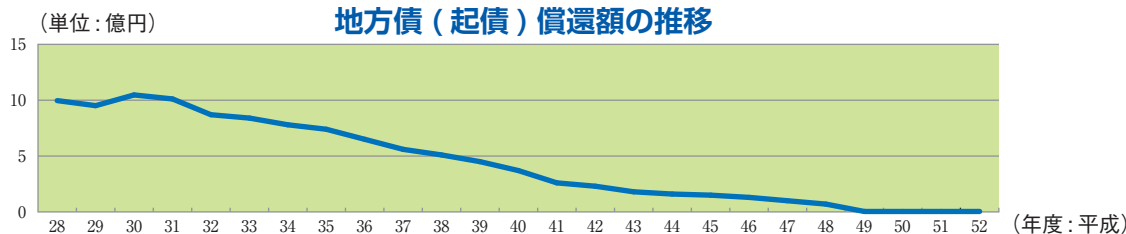
財政状況を調査／総務常任委員会

2月9日、本町の財政と起債償還計画の調査を行った。本町の基金と財政全般が将来も健全な運営が行われるよう中期財政収支見通し（一般会計）、今後の起債償還計画の資料の提出を求め、聞き取りをした。

- 平成28年度から52年度までの償還金額は、11億1千万円以上必要になる。特に31年度までは10億円前後の償還となる。38年度までは5億円以上の償還が続く。これには平成29年度以降の起債は含まれていない。庁舎移転等の費用や、平成35年頃から減少傾向になる地方交付税の動きをみると、将来にツケを残さない財政運営の重要度が増す。このことを、資料を基に総務課と確認をした。
- ① 今後の対応として以下のことを提案した。
- ② 公共施設・町営住宅・インフラ等の計画的な維持管理による長寿命化・運営管理の効率化
 - ③ 町政の効率化・収入源の開拓（ふるさと納税）

町財政全般の運営に全課の関係強化

地方債（起債）償還額の推移



※現在、発行されている地方債（起債）の償還額の推移です。今後発行される地方債の償還額は含まれていません。このため、地方債の発行に伴い、償還のピークは後年度に移っていくことになります。

安全対策を万全に

公共事業の進捗状況を調査／産業建設常任委員会

公共事業の進捗状況を調査した。

久礼川改修工事は平成29年度末で78・5%の進捗予定とのことだ。未改修区間の早急な事業の完成を求めた。

久礼新港は、防災拠点港の配置計画で、須崎港の補完港となる二次防災拠点港と位置づけられている。現在、地震に備え耐震強化岸壁の補強整備を行っている。背後にはSEAプロジェクト施設も整備されており、早期の完成を要請した。

笹場海岸防潮堤補強工事は、老朽化した施設を補強し、防災機能強化を図るべく着工している。引き続き補強工事の施工を求めた。

元川橋梁補強工事は市街地への進入路であり、通行止めにより不便をき

たしている。期限内の完成を求めた。

町道元谷小々草線の路側法面の補強工事が発注



久礼川河川改修事業の現地調査をする産業建設常任委員

されている。SEAプロジェクトとして整備される芝生広場に隣接しており、安全対策に万全を期して欲しい。

公共施設移転等工事は、国道、通学路に面した大規模工事だ。安全対策に万全を期して取り組むことを強く求めた。

中四国農政局長賞受賞

学校給食センター等を調査 教育民生常任委員会

1月20日、上ノ加江中学校の避難場所と学校給食センターを現地調査した。

上ノ加江中学校の避難場所の裏山は、「地震時に崖崩れ山津波」「暖・雨・トイレ」「マムシ・サル」の出現」等の問題がある。このため従前は、忠魂墓地や高台にある上ノ加江小学校が避難場所として指定されていた。しかし、12月定例会で質問が出ることで、教育委員会から裏山を避難場所にと指示が出された。また、上ノ加江小中合同運営協議会も同意見であり変更された。

現地調査で、周りにマムシ出現等の危険性が高いため、裏山への道の舗装の必要性、標高を示す標識・避難用品の整備が要望された。



学校給食センターで教育委員会から事業説明を受ける教育民生常任委員

学校給食センターは、上ノ加江と久礼の2系統で配送されている。食材は地産地消で町内産を最優先し、県内産、国内産と順に調達している。給食の改善が図られ、試食した限り、おいしいと感じた。

地場産品活用等で農水省中四国農政局長賞を受賞したことで、関係者の労をねぎらった。

2月7日、岡山県奈義町を視察した。奈義町は



岡山県奈義町役場で子育て支援について研修する教育民生常任委員

人口約6千人。平成26年度に合計特殊出生率2・81と日本一を達成している。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標値2・6だ。陸上自衛隊日本原駐屯地があり、若年隊員等700名の駐留や人口10万人の津山市と隣接し、ベッタタウン化していることが、子どもが産める子育てファミリーの多さにつながっていることも否定できない。しかし、達成の鍵は「子育て負担軽減」「子育て悩み相談」「町全体で子育て支援」「住むところ」の4つの安心だ。そして、それに向けた施策を切れ目なく実施していることだ。

池田町長の行政報告

「アメゴ釣りな祭」に終止符

1. 平成29年度予算編成

一般会計の当初予算は、69億5674万円となり、昨年と比べて4億2517万円増の大型予算となった。

大型予算の主な要因は、公共施設移転等事業の「新庁舎」「消防庁舎」「久礼保育所」の実施設計に係る予算。そして、これらの用地造成や進入路整備に係る事業費の計上によるものである。

継続事業は「空家活用促進事業」「新規就農総合支援事業」「高齢者等外出支援事業」「子ども医療費助成事業」「木造住宅等耐震化促進事業」「高校生通学対策事業」「奨学金制度の拡充」などを計上している。

2. SEAプロジェクト

SEAプロジェクト施設は、計画どおり進められている。7月6日落成式典、7月15日グランドオープン予定である。

3. 集落活動センター

大野見竹原地区に県内34か所目の集落活動センターとして「大野見集落活動センターみなみ」が3月26日開所する。

4. 南海地震対策

中土佐町自主防災会連絡協議会が、防災講演会を実施した。また、熊本県西原村、愛媛県伊方町へ現地視察研修を行った。

5. アメゴ釣りな祭の終了

旧大野見村時代からの恒例のイベントとして開催されてきた「大野見アメゴ釣りな祭」は、実行委員会で協議した結果、昨年の30回をもって終了することが決定した。

6. 四万十源流の家（現四万十源流の里）

新たな指定管理者として、「JPT Tours japan株式会社」が4月から営業を再開する。

A 私たちは、こんなことをしています。

《各議員の出欠状況(平成29年1月1日～平成29年3月31日)》

議 員 名		岡 伊 三 男	戸 田 晴 喜	山 中 英 男	山 下 世 仁 子	黒 原 昭 一	中 城 重 則	下 元 道 夫	佐 竹 敏 彦	福 永 守 恭	松 下 裕 之	本 井 康 介
日付・会議等												
1月11日	議会運営委員会（中土佐庁舎）	△					○	○	○			○
1月12日	議会広報常任委員会（　　〃　　）				○	○		○		○		
1月13日	議会行政実務研修（高知城ホール）	●		●	○	○				●		
1月20日	教育民生常任委員会（上ノ加江中学校他）	○		○			○		○		○	
1月26日	地方議会研究会（福岡県福岡市）	○			○	○	○			○	○	
1月27日	議会運営委員会視察（四万十町・佐川町）		○				○	○	○		○	○
2月1日	全員協議会（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月3日	福岡県岡垣町議会広報視察（中土佐庁舎）				○	○		○		○		○
2月7日	教育民生常任委員会視察（岡山県奈義町）	○		○			●		○		○	
2月8日	第1回臨時会（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（　　〃　　）		○				○	○	○			○
	全員協議会（　　〃　　）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月9日	総務常任委員会（　　〃　　）	○	○					○		○		○
2月17日	議会運営委員会（　　〃　　）		○				○	○	○			○
2月20日	産業建設常任委員会（町内・中土佐庁舎）		○		○	○	○		△			
3月1日	議会運営委員会（中土佐庁舎）		○				○	○	○			○
3月7日	3月定例会〈1日目〉（　　〃　　）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会（　　〃　　）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報常任委員会（　　〃　　）				○	○		○		○		
3月9日	予算精査会（　　〃　　）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育民生常任委員会（　　〃　　）	○		○			○		○		○	
3月10日	予算精査会（　　〃　　）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（　　〃　　）		○				○	○	○			○
3月14日	3月定例会〈2日目〉（　　〃　　）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月15日	3月定例会〈3日目〉（　　〃　　）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月17日	3月定例会〈4日目〉（　　〃　　）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月31日	議会広報常任委員会（　　〃　　）				○	○		○		○		

○・・・出席 ●・・・欠席 △・・・一部欠席 /・・・所属委員等でない

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみを掲載しています。

Q 議員は何をしゆうが？

《議長の主な活動状況（平成29年1月1日～平成29年3月31日）》

● 1 月

- 2 日 成人式（町民交流会館）
- 8 日 消防出初め式（久礼八幡宮）
- 23 日 石川県穴水町議会視察（中土佐庁舎・町内）

● 2 月

- 3 日 福岡県岡垣町議会広報特別委員会視察（中土佐庁舎）
- 13 日 四万十町正副議長挨拶（中土佐庁舎）
- 20 日 高幡広域市町村圏事務組合打合せ（中土佐庁舎）
- 24 日 高幡町村議会議長会臨時総会（高知市 / 高知県自治会館）
高知県町村議会議長会第 68 回定期総会（高知市 / 高知県自治会館）
高知県町村長・町村議会議長大会・意見交換会（ザ クラウンパレス新阪急高知）
- 27 日 津野山養護老人ホーム組合議会定例会（須崎市 / 「道の駅」かわうその里すさき）
高陵特別養護老人ホーム組合議会定例会（須崎市 / 「道の駅」かわうその里すさき）
高幡障害者支援施設組合議会定例会（須崎市 / 「道の駅」かわうその里すさき）
高幡消防組合議会定例会（須崎市 / 「道の駅」かわうその里すさき）
高幡広域市町村圏事務組合議会定例会（須崎市 / 「道の駅」かわうその里すさき）

● 3 月

- 11 日 久礼中学校卒業式（久礼中学校）
大野見中学校卒業式【（代理）松下副議長】（大野見中学校）
上ノ加江中学校卒業式【（代理）佐竹教育民生常任委員長】（上ノ加江中学校）
- 23 日 上ノ加江小学校卒業式（上ノ加江小学校）
久礼小学校卒業式【（代理）松下副議長】（久礼小学校）
大野見小学校卒業式（代理）佐竹教育民生常任委員長【（大野見小学校）】
- 24 日 高幡西部特別養護老人ホーム組合議会定例会【議長・議選組合委員】（四万十町役場）
- 25 日 久礼保育所卒園式（久礼保育所）
- 28 日 高幡東部清掃組合議会定例会【議長・議選組合委員】（高幡東部清掃組合）

スマホ・パソコンで議会を。

スマートフォンやパソコンで本会議の様子が視聴できます。



（パソコンの方はこちらから）
smart.discussvision.net/smart/tenant/nakatosa/WebView/sp/

6 月定例会日程（予定）

- 6 月 9 日（金） 行政報告・議案の提案理由説明・委員会活動報告 他
- 6 月 12 日（月） 一般質問
- 6 月 13 日（火） 一般質問
- 6 月 15 日（木） 議案等の採決 他

※日程は、変更になることがありますので、ご注意ください。

会議録を閲覧できます。

インターネット中継の映像及び音声は公式記録ではありません。また「議会だより」は発言の概要のみを掲載しています。公式記録は会議録をご覧ください。

会議録は、中土佐町のホームページ及び議会事務局でご覧いただけます。

議会に対するご意見 などを募集しています。

ご意見や感想など500字以内で、郵送でご投稿ください。

ご投稿先 〒780-1301 中土佐町久礼6602番地2
中土佐町役場議会事務局



議会を傍聴する上ノ加江小学校5・6年生の皆さん

上ノ加江小学校 5・6年生が 議会を見学

ラインでいじめをしないようにする！

美術館の移転はいいと思う！

シーブプロジェクトができれば家族みんなで行きたい！

議員になり、中土佐町をよくするためにがんばりたい！

避難タワーに変わる安全な避難の方法を考えないといけない！

関心があったのは、買い物に行けない人がいるので山内までバスをという話！

韓国とも交流を深めないと！

時間内にぴったり収まるよう話していた！

空気がピリピリで怖かった！

山内にバスが来たら活用したい！

若い人を増やす方法を話し合って！



議会は、どなたでも傍聴できます。

入場時は入口の注意事項をお読みください。

3月定例会の一般質問が行われた3月14日、上ノ加江小学校5・6年生、11人全員が議会の傍聴に訪れました。傍聴中は議員や執行部の発言を聞き逃さまいと、全員が真剣な表情でメモを取る姿が印象的でした。

議場で感じたことや議会を取り上げてもらいたいことなどを、学校に帰って感想文にまとめ、議会に届けてくれました。

自主防災会 連絡協議会と 懇談会

議会も自主防の活動を理解していた。懇談会をやった良かった。今後とも連携していきたい。



自主防災会連絡協議会の田上正司会長



テントも何もなく、避難しても生活できない！

避難所マニュアルは町民が作るもの！

南海トラフ地震で被害の少ない日本海側との連携に議員の力を！

見守りマップを作るので議員も見に来て！

避難タワーのゴンドラは役に立たない！

関連死を防ぐマニュアルを！

夜間訓練も必要！

自衛隊・消防・警察との大規模訓練を！

訓練の回覧は自分たちで！

備蓄倉庫はあるが、避難が長引けばどうか！

今回、はじめての議員出張懇談会を開催し、多くの意見をいただきました。
あらためて、住民ぐるみの防災対策の必要性を痛感しました。

4月18日、議会が町民の皆様の所に出向く「議員出張懇談会」の第1回目が行われました。
今回は、中土佐町自主防災会連絡協議会の田上会長ほか役員の方々10名と全議員で、防災に関し当面する課題等について意見交換を行いました。

議員出張懇談会が始まりました。

10人程度（これより多い場合も歓迎します）の団体やグループで、議員との懇談の希望があれば、議員が町内どこへでも出張し、懇談会を開催いたします。

ご希望がある場合は、下記までお問い合わせください。

記

中土佐町議会事務局 TEL 52-2410 FAX 52-4850
E-mail gikaijimu@town.nakatosa.lg.jp

「あーや どうなっちゃうぜよ」 追跡

今号では、松下裕之議員が平成28年3月定例会で質問した「保育所2人目無料化」の問題を追跡しました。

【平成28年3月定例会】

問 保育料は2人目半額、3人目は無料だが、園児数175名の中で無料対象は44名だ。高知市などのように2人目無料を考

えてみたかどうか。

池田町長 子育て世帯の負担を考え、2人目が入所したときに1人目を半額という方向で、平成29年度実施に向け財政との調整をしていく。



上ノ加江保育所の園庭で遊ぶ園児たち。2人目からの無料化は・・・。

■その後の対応

財源確保が厳しい。少子化対策とともに、将来的に財源確保ができた時点で取り組む。
(教育委員会)

表紙写真



今年度の議会だよりの表紙の写真は、「中土佐の未来を託す子どもたち」を取り上げます。

第1回目は、久礼小学校1年1組の子どもたち。

黒板に書かれたひらがなを指で書く練習だ。子どもたちは、小学生になったというところで、やる気満々。

今年の1年生は、全部で39名。1組20名、2組19名の二クラスとなっている。入学式から今日で9日目だ。

担任の小島先生は、「これから子どもたちは学期ごとに習う事も増え、本当に変わってきます」と話してくれた。

さらさらと輝く子どもたちの目に、町の将来を担う姿を見た。

つぶやき

未来の声

「イベントのできる公園を上ノ加江、矢井賀に」
「シープロジェクト」道の駅はすつと家族と楽しみに「県の産業も盛んになり、中土佐町に沢山の人が来る」「若い人を増やす方法を話し合って」等々。

3月14日一般質問を傍聴した上ノ加江小学校5・6年生の、感想文から抜粋した真の声。

議会の在り方や議員の役割を真に見聞きし、難しい言葉の内容にも自分に合った関心事と理解を示し、精いっぱい表現する子どもたち。

少子高齢化は益々進み、生活形態が少しずつ変化をもたらす昨今。子どもたちの声を聞き、私達は何をどうするべきか真剣に考える時期に来ているのではないか。

極めつけは「色々な問題を話し合い、少しでも町をよくするよう頑張っていた。その話し合いに参加できるよう議員になり、中土佐町をよくする為に頑張りたい」

頼もしい未来の声である。将来を担う姿がそこにあり、我々大人も負けてはいられない。

中土佐町議会議員 山下 世仁子

中土佐町議会広報常任委員会

委員長 下元 道夫
副委員長 山下世仁子
委員 黒原 昭一
委員 福永 守恭